

地域回想法

—60年前の秋田、脳を若く保つには—

60年ほど前に使われていた民具（秋田県立博物館の館蔵資料）は、その時代を生きていた方々にとても懐かしい感情を呼び起こします。誰かとその思い出を語り合い、感情を共有し、身振り手振りで使い方を説明することは、脳の活性化につながります。

地域回想法とは、身近な地域の社会資源を活用して交流することで、人の絆を育み地域のネットワークを広げ、生き生きとした『町づくり』に貢献する社会参加を目指すものです。

高齢者にとって、地域回想法はご自身の生活の歴史を次世代に伝える継承の場でもあります。伝える役割を担い、ご自分の人生を振り返り肯定的にとらえることによって、健やかで豊かな人生を歩み続けることを支援する、介護予防の手段の一つとなります。

日 時：令和2年10月10日（土）13時30分～15時

会 場：秋田県立博物館 1階 学習室

講 師：浅野 朝秋 氏

（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 准教授）

定 員：25名（先着順となります）

今回の地域回想法では、写真（右）にあるテレビのほか、カツオ節削り器等を使用します。

※新型コロナウイルス感染症予防対策として、ご来館の際にはマスクの着用、手指の消毒等にご協力をお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、この講座を中止する場合がありますのでご了解ください。



**お申し込み お問い合わせ先
秋田県立博物館 博物館教室担当宛て**

電 話 018-873-4121

F A X 018-873-4123

e-mail info@akihaku.jp